

1 題材名 詩と音楽を味わって歌おう

2 目標

- 楽曲に込められた思いや意図に関心を持ち、歌詞の内容や楽曲の特徴を生かして表現する活動に進んで取り組む。  
(音楽への関心・意欲・態度)
- 歌詞の内容と楽曲の特徴との関わりを感じ取って歌唱表現を工夫し、思いや意図をもつ。  
(音楽表現の創意工夫)
- 歌詞の内容や楽曲の特徴を生かし、音楽を形づくっている要素を働かせて歌う。  
(音楽表現の技能)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領の「A 表現」の「イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。」を受けた内容である。楽曲には作詞者や作曲者の思いや意図が込められている。その思いや意図を児童が捉え、それを基に表現に対する自分の考えや願いを持ち、試行錯誤しながら表現の工夫をしていくことによって、思いや意図をもって表現することができるようにしたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態

10月に実施した「思いや意図をもって表現することについて」の意識調査や、7月に行った実技テストの結果を分析すると、児童は、歌詞の内容や旋律の特徴を捉えて表現することができず、思いや意図をもって表現することに至っていないことが分かった。

(3) 指導観

児童が思いや意図をもって表現することができるように、まず、第一次では、表現に対する自分の考えや願いをもてるようにする。そのために、第1時は、心に残った歌詞について話し合う活動を行い、歌詞にどのようなメッセージが込められているかを考え、作詞者の思いがつかめるようにする。第2時では、作詞者の思いを伝えるためにどのような工夫があるのかを楽譜から読み取る活動や、強弱記号を変えて歌い比べ、強弱記号の意味を話し合う活動をすることで、作曲者の思いや意図をつかめるようにする。第二次では、表現に対する自分の考えや願いを具体的な方策をもって音楽で表現できるようにする。そのために、第3時では、作詞者や作曲者の思いや意図が表れている合唱部分の表現を工夫し、表現のイメージがもてるようにする。第4時では、第3時でもった表現のイメージを具体的に歌唱表現するために、音楽を形づくっている要素をどのように働かせるかを試す活動をする。

このような活動を通し、思いや意図をもって表現できるようにする。

4 教材

「思い出のメロディ」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

5 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
①歌詞の内容、楽曲の特徴を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	①音の重なりや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取っている。 ②歌詞の内容、楽曲の特徴などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。	①歌詞の内容、楽曲の特徴を生かした表現で歌っている。

6 学習計画及び評価計画（4時間扱い）

次	時	学習目標と主な学習活動（○は目標，・は学習活動）	評価規準
一	1	○歌詞の内容を考えながら朗読したり歌ったりする活動を通して，歌詞に込められたメッセージをつかむ。 ・歌詞を読んだり歌詞唱をしたりして，心に残った歌詞について話し合う。 ・歌詞にどんなメッセージが込められているか考える。	アー①
	2	○音楽の特徴について考えたり歌って確かめたりする活動を通して，歌詞に込められたメッセージを伝えるためにどのような工夫があるか考える。 ・作詞者の思いを音楽で伝えるための楽譜から，どのような工夫があるか考える。 ・違う強弱表現で歌い比べながら，なぜそのような工夫をしたのか話し合う。	イー①
二	3	○合唱部分の歌詞と楽曲の特徴との関わりを捉える活動を通して，表現のイメージをもつ。 ・合唱部分の特徴を見付ける。 ・歌詞と強弱や旋律の音の上がり下がりとの関わりを捉える。 ・どのように表現するか試しながら歌う。	イー②
	4	○表現のイメージから具体的な表現方法を考え，合唱する。 ・合唱部分の表現のイメージを実際に表現するための具体的な方法を考える。 ・音楽を形づくっている要素の働かせ方を話し合いながら歌って試す。 ・最初に録音した演奏と今回の演奏を聴き比べ，感じたことを話し合う。 ・話し合ったことを基に更に創意工夫する。	イー② ウー①

7 各時の学習

(1) 第1時

○目標

歌詞の内容を考えながら朗読したり歌ったりする活動を通して、歌詞に込められたメッセージをつかむ。

○教材

「思い出のメロディ」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

○準備・資料

拡大楽譜 拡大歌詞 ワークシート 範唱 CD

○展開

学習活動・内容	形態	指導上の留意点・評価
<p>1 既習曲を歌う。 「大切なもの」</p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習曲「大切なもの」を歌うことで、どのようなメッセージがこめられているのか、を児童に問いかけることにより、歌詞の内容に意識を向けさせ、本時の課題につなげるようにする。</li> </ul>
<p>2 本時の課題を確認する。</p> <p>(1) 範唱を聴く。</p>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>本題材では、詩と音楽を味わって歌うために、まずは歌詞の内容を考える活動を行っていくことを伝え、学習への見通しがもてるようにする。</li> <li>歌詞のよさを感じ取るため、「いいな」と感じた歌詞の部分に印を付けながら範唱を聴くようにする。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「思い出のメロディ」の歌詞にこめられたメッセージをみつけよう。</p> </div> <p>3 歌詞唱をする。</p> <p>(1) 歌詞の内容を考えながら、主旋律を歌う。 (2) 縦書きの歌詞を読む。 (3) 心に残った歌詞について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なつかしい あのメロディ</li> <li>いつまでも 心のときめきを</li> <li>忘れずに 君に伝えて など</li> </ul> </div>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉を大切に歌うことにより、歌詞の内容を考えられるようにする。</li> <li>一つ一つの言葉を意識しながら、言葉のまとまりや語感を生かして表現できるように、朗読をする。</li> <li>児童から出された意見を板書し、共有したことを基に、なぜそれらの歌詞が心に残ったのか、全員で理由を話し合うようにする。</li> </ul>
<p>4 この曲の歌詞にどんなメッセージが込められているか考える。</p> <p>(1) ワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達を大切にしよう。</li> <li>みんなとの思い出を忘れない。</li> <li>いつまでも みんな仲良く。 など</li> </ul> </div>	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容と自分の経験や思いを重ね合わせることにより、歌詞を自分に引き寄せながらメッセージを考えられるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【音楽への関心・意欲・態度】</b></p> <p>歌詞の内容、楽曲の特徴を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート、観察)</p> </div>
<p>(2) 発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が捉えたメッセージが、歌詞のどの部分とつながるかを考えることにより、より大切に表現していきたい歌詞を意識できるようにする。</li> </ul>

5 本時のまとめをする。

- (1) 歌詞唱をする。
- (2) 振り返りカードに記入をする。
- (3) 次時の学習の確認をする。

作曲者はどのような工夫をしているのか  
みつけよう

一斉

- 歌を歌うことで歌詞に込められたメッセージを確認し、そのメッセージを歌で伝えるようにするために、これから学習していくことを確認する。
- 本時は歌詞であったが、次時は作曲者の思いや意図について考える活動することを伝え、次時の活動につなげられるようにする。

(2) 第2時

○目標

楽曲の特徴について考えたり歌って確かめたりする活動を通して、歌詞に込められたメッセージを伝えるためにどのような工夫があるのかを考える。

○教材

「思い出のメロディ」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

○準備・資料

拡大楽譜 拡大歌詞 ワークシート

○展開

学習活動・内容	形態	指導上の留意点・評価
<p>1 「思い出のメロディ」の主旋律を歌う。</p> <p>2 本時の課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     作曲者はどのような工夫をしているのかみつけよう。                 </div></p> <p>3 曲の特徴について考える。                      (1) 楽譜の中で、この曲の特徴だと思われる部分を探す。(ワークシートに記入する。)  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ※児童の記入例                          ・2段目までは斉唱、3段目からは合唱になっている。                          ・3段目の最初が <i>f</i> になっている。                          ・4, 5段目にクレシェンドやデクレシェンドが付いている。                          ・言葉の繰り返しがある。                     </div>                     (2) 歌って確かめる。                      (3) 作曲者はなぜそのような工夫をしたのか考える。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ※児童の発言例                          ・3段目からが合唱になっているのは歌詞に込められたメッセージを伝えたいから。                          ・4段目5段目に強弱記号が多く付けられているのは、一つ一つの言葉を大切に、メッセージを伝えたいから。                          ・言葉を繰り返しているのは思いを込めたいから。                     </div> <p>4 本時のまとめとをする。                      (1) 合唱する。                      (2) 振り返りカードに記入する。                      (3) 次時の学習内容を確認する。  <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                         歌詞に込められたメッセージが伝わるように合唱部分の表現を工夫しよう                     </div> </p></p>	<p>一斉</p> <p>個人</p> <p>一斉グループ</p> <p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習で確認した、歌に込められたメッセージを掲示しておき、その思メッセージが聴く人に伝わるように歌うよう伝える。</li> <li>・前時は歌詞であったが、本時は曲の工夫に迫ることで、作曲者の思いや意図について明らかにしていくことを伝え、活動への意欲がもてるようにする。</li> <li>・作曲者の工夫は曲の特徴として現れていることを確認し、活動につなげる。</li> <li>・音の重なり、強弱にポイントをしぼって考えることにより、楽曲の特徴に気付けるようにする。</li> <li>・話し合いと、実際に歌って試す活動を併せて行うことにより、音楽で考えることができるようにする。</li> <li>・違う強弱表現で歌い比べる活動を行い、なぜそのような工夫をしたのか考えられるようにする。</li> <li>・作曲者の意図を考えることにより、曲の中から見付けた特徴と、前時で学習した、歌詞に込められたメッセージとの関わりに気付けるようにする。</li> <li>・グループごとに出された意見を板書で整理しながらまとめ、合唱部分により多くのメッセージが込められていることに気付けるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【音楽表現の創意工夫】</b>                          音の重なりや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取っている。(ワークシート・発言)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の学習を振り返りながら合唱をすることにより、合唱部分の曲の工夫を感じ取り、そこに作曲者の思いや意図が含まれていることが理解できるようにする。</li> <li>・録音して、後の学習に生かせるようにする。</li> </ul>

(3) 第3時

○目標

合唱部分の歌詞と楽曲の特徴との関わりを捉える活動を通して、合唱部分の表現のイメージをもつ。

○教材

「思い出のメロディ」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

○準備・資料

拡大楽譜 拡大歌詞 ワークシート タブレット PC

○展開

学習活動・内容	形態	指導上の留意点・評価
1 「思い出のメロディ」を合唱する。  2 本時の課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         歌詞に込められたメッセージが伝わるように合唱部分の表現を工夫しよう。                     </div>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに学習した、この曲にこめられたメッセージや、斉唱部分と合唱部分の曲想の違いを意識して歌うようにさせる。</li> <li>前時に学習した、合唱部分には強弱記号が多く、メッセージがより強く表現されていることを振り返り、本時では合唱部分を工夫していくことを伝え、本時の学習への意欲を高めたい。</li> </ul>
3 合唱部分の表現の工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>合唱部分の特徴を見付ける。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ※予想される児童の発言                         <ul style="list-style-type: none"> <li>fで始まっている。</li> <li>クレシェンドなどの強弱記号が多い。</li> <li>言葉がくり返されている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞と強弱や旋律の音の上がり下がりとの関わりを捉える。(ワークシートに記入する。)</li> <li>歌詞のつながりについて考える。</li> </ul>	一斉個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱部分の特徴として、言葉が繰り返されている部分があることに注目をさせることにより、表現の工夫が深まるようにする。</li> <li>縦書きの歌詞では1回しか使われていない歌詞が、曲の中では繰り返されていることに気付かせ、児童の思考を深めたい。</li> <li>強弱や旋律の音の上がり下がりとの関係や、歌詞がどのようにつながっているのかに着目させることで、表現の工夫を考えるポイントとする。</li> <li>逆の強弱表現で教師が歌い、歌詞と強弱、旋律の音の上がり下がりとの関係に気付けるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように表現すればよいか話し合い、試しながら歌う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ※予想される児童の発言                         <ul style="list-style-type: none"> <li>最初の「いつまでも」よりも、次の「いつまでも」をやさしく歌いたい。</li> <li>「こころのときめきを」は、「わずれずに」につながるようにし、盛り上げるように歌いたい。</li> </ul> </div>	一斉個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの表現の工夫を学級全体として歌って試しながら、表現を考えていく。</li> <li>ICTを活用して録音し、聴いて確認することを繰り返すことで、自分たちの表現を客観的に評価できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【音楽表現の創意工夫】</b></p> <p>どのように歌うかについて自分の考えや願いをもち、表現を工夫している。(ワークシート、観察)</p> </div>
4 本時のまとめをする。 (1) 本時の活動を振り返り、どのように表現すれば、歌詞に込められたメッセージが伝わるか、ワークシートに記入する。	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童から出された意見を整理して板書し、全員で確認できるようにする。</li> <li>本時の活動を振り返りながら、歌詞に込められたメッセージを伝えるためには合唱部分をどのように表現すればよいのかイメージをもてるようにする。</li> </ul>

※予想される児童の記入例

- ・「いつまでも いつまでも」のところは2回目の「いつまでも」をやさしく歌いたい。
- ・「きみに つたえて」のところは、友達に語りかけるように歌いたい。

(3) 次時の学習内容を確認する。

表現のイメージをみんなの歌声で表そう。

一斉

- ・歌詞に込められたメッセージが伝わってきたのは、どのようなイメージをもって歌ったときか、振り返りながら記入できるようにする。

- ・次時では、本時でもった表現のイメージを、具体的に表現する活動を行うことを伝え、次時の活動につなげるようにする。

(4) 第4時

○目標

表現のイメージから具体的な表現方法を考え、合唱する。

○教材

「思い出のメロディ」 深田 じゅんこ 作詞 橋本 祥路 作曲

○準備・資料

拡大楽譜 拡大歌詞 ワークシート タブレット PC

○展開

学習活動・内容	形態	指導上の留意点・評価
<p>1 「思い出のメロディ」を合唱する。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>表現のイメージをみんなの歌声で表そう。</p> </div> <p>3 合唱部分の工夫を実際に表現するための具体的な方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の確認をする。</li> <li>・音楽を形づくっている要素（強弱や言葉の扱い）をどのように働かせるかについて話し合いながら歌う。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころのときめきを」は「わすれずに」にむかっていく感じでだんだん大きくする。</li> <li>・「わすれずに わすれずに」は2回目をもっと大切に歌いたいから、2回目を大きく歌う。</li> </ul> </div>	<p>一斉</p> <p>個人 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した、この曲の歌詞に込められたメッセージや、合唱部分の表現のイメージを意識して歌うようにさせる。</li> <li>・前時で確認した、合唱部分の表現のイメージをから具体的な表現方法を考え、最後にまとめの合唱をすることを伝え、学習の見通しをもたせる。</li> <li>・これまでの学習内容がよく確認できるように、ポイントを掲示する。</li> <li>・前回の学習で話し合ったことを板書しておき、表現のイメージを実際に歌唱表現するための具体的な方法を考えられるようにする。</li> <li>・歌詞を朗読したり、強弱や旋律の音の上がり下がり関係に着目させたりすることで、表現の工夫を考えるポイントとする。</li> <li>・強弱表現は、旋律を付けずに言葉のみで何度か声に出してみることで、どのようにすれば聴く人に伝わる表現になるか考えられるようにする。</li> <li>・児童から出された意見を整理しながら板書したり、実際に歌って試したりしながら考えをまとめていくようにする。(ICTを活用して録音する。)</li> <li>・斉唱部分の役割を考えたり、歌詞や旋律の特徴について考えたりして、合唱部分との違いを理解できるようにする。</li> <li>・斉唱部分と合唱部分それぞれの表現について話し合ったことを生かして表現できるよう声をかける。</li> </ul>
<p>4 全体を通して合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱する。</li> <li>・改善点を話し合う。</li> <li>・話し合いを基に合唱する。</li> </ul>	<p>一斉</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【表現の技能】</b> 歌詞の内容、楽曲の特徴を生かした表現で歌っている。(観察)</p> </div>
<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の活動を振り返り、どのように表現すれば、歌詞に込められたメッセージが伝わるか、ワークシートに記入する。</p>	<p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現のイメージから考えた具体的な表現方法を記入できるようにし、これまでの学習の成果を実感できるようにする。</li> </ul>



※予想される児童の発言

- ・「わすれずに わすれずに」の2回目を もっと大事に歌いたいから、言葉をはっきりと、大きく歌う。
- ・「きみに つたえて」を語りかけるように歌いたいから、だんだん小さく、言葉をはっきりと歌う。

(2) 学習の振り返りと感想を記入する。

(3) まとめの合唱をする。

【音楽表現の創意工夫】

歌詞の内容、楽曲の特徴などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。

(ワークシート・発言)

個人

- ・本時までの活動を振り返り、どのようなことができるようになったのか、分かるようになったのか、などと投げかけ、学習を振り返りながら活動の感想を記入できるようにする。

一斉

- ・これまでの学習を生かし、思いを込めて歌うことができるように声をかける。